

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 28 日作成)

委員会名	都市気候対策小委員会	主 査 名：持田 灯
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：仙田 満
設 置 期 間	2003 年 4 月 ～ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	ヒートアイランドの形成に影響を及ぼす要因およびその対策手法に関する近年の研究成果を Review するとともに、行政の対応や具体的対策事例に関する情報収集を行う。これらを踏まえて、ヒートアイランド対策を合理的に進めるための評価項目、評価手法について整理し、提言を行う。	
委員構成 (委員名 (所属))	持田灯 (主査:東北大)、足永靖信 (幹事:建築研究所)、渡邊浩文 (幹事:東北工大)、村上周三 (慶応義塾大学)、梅干野晁 (東京工業大学)、森山正和 (神戸大学)、成田健一 (日本工業大学)、堤純一郎 (琉球大学)、下田吉之 (大阪大学)、大岡龍三 (東京大学)、谷本潤 (九州大学)、一ノ瀬俊明 (国立環境研)	
設置 WG (WG 名：目的)	都市気候モデリングWG (主査：大岡龍三・東京大学) 都市形態、土地利用、エネルギー消費等の都市や建築に関わる諸要因が都市の気候変化やエネルギー消費に与える影響を予測・評価するための解析手法を整備し、これを用いて各種ヒートアイランド対策の効果を定量的に評価する。	
2004 年度予算	85,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 1 回 (7/20・5 名), 第 2 回 (10/1・7 名), 第 3 回 (12/7・4 名), 第 4 回 (3/30 予定)
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>I. 都市気候対策に関する公開勉強会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 7 回「クリマアトラス実用の技法」(2004.04 開催) <p>II. 建築雑誌「活動レポート」への公開勉強会の報告投稿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 6 回勉強会報告 (建築雑誌 2004 年 8 月号掲載) ・第 7 回勉強会報告 (建築雑誌 2004 年 8 月号掲載) <p>III. 2004 年度大会研究協議会の開催</p> <p>「ヒートアイランド対策のための学会提言に向けて」を企画立案し、これを実施した。 → 報告 (建築雑誌 2005 年 2 月号掲載, 詳細版を Web にて公開)</p> <p>IV. 学会提言「都市のヒートアイランド対策に関する提言」の取り纏め</p> <p>数年にわたり実施してきた公開勉強会成果と研究協議会での議論に基づき提言案を取り纏めた。2005 年 2 月の学術推進委員会で承認された。</p> <p>喫緊の社会的課題である都市気候対策について公開勉強会を前年度より継続して実施し、毎回多くの参加者を得ている。これらの活動は学会内のみならず学会外への影響も大きく、本小委員会がこの分野において学術的・社会的に強い牽引役となっている。</p> <p>委員会 HP アドレス：http://news-sv.ajj.or.jp/tkankyo/s0/sc08.htm</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>各勉強会・研究協議会では関連分野の指導的立場にある学識経験者等に多数ご参画いただき、非常に有益な議論の場を形成することが出来た。これらの成果を踏まえた学会提言の検討と取り纏めを行い、当初の活動計画を十分に達成していると考えられる。</p>
その他評価すべき事項	地球環境委員会「これまでの 10 年・これからの 10 年展」に、本小委員会の活動および提言についてパネル展示